

九州大学農学系地区基本設計

計画説明書

2010年3月

はじめに

九州大学は、平成 23 年（2011 年）に総合大学として創立百周年を迎える。百年の伝統を基盤とし、知の新世紀を拓くために、飛躍することが期待されている。九州大学は、世界の人々から支持される高等教育を推進し、広く世界において指導的な役割を果たし活躍する人材を輩出し、世界の発展に貢献することを目指している。また、人類が長きにわたって遂行してきた真理探求とそこに結実した人間的叡知を尊び、これを将来に伝えてゆくとともに、諸々の学問における伝統を基盤として新しい展望を開き、世界に誇り得る先進的な知的成果を産み出してゆくことを自らの使命としている。

九州大学は、こうした世界第一級の教育・研究と診療活動を展開し、アジアに開かれた知の世界的拠点大学として、多くの留学生を引き寄せ、また、西日本を代表する基幹総合大学として、都市と共に栄え、市民の誇りと頼りになる大学として、発展し続けることが期待され、宿命づけられている。九州大学は、伊都キャンパスを「総合研究の拠点」として位置づけ、これからの百年を見通した大学の様々な活動の舞台として展開する。この伊都キャンパスへの統合移転を早期に実現するため、必要な事業を着実に推進する必要がある。

農学系地区は、伊都キャンパス・ウエストゾーンにおける重要な大学の顔として位置づけられている。農場ゾーン、生物多様性保全ゾーン、保全緑地、グリーン・コリドーなど、研究教育棟を取り囲むキャンパスの豊かな自然環境の佇まいを育みつつ、ウエストゾーンの他地区と緊密に連携することにより、多くの成果を生み出すことのできる環境の形成を目指している。農学系地区基本設計は、「九州大学マスタープラン 2001」、「工学系地区基本設計」、「センター地区基本設計」、「理学系地区基本設計」、「パブリックスペース・デザインマニュアル」、「水循環系保全整備計画」、「保全緑地維持管理計画」等をふまえ、農学研究院・学府、地区の利用者各位から示された様々な与条件をもとに、ウエストゾーンWGおよびコアチーム、施設部と新キャンパス計画推進室、設計コンサルタントである株式会社石本建築事務所のスタッフが検討を重ねたものである。

2010 年（平成 22 年）3 月
新キャンパス計画専門委員会

1. 農学系地区基本設計の考え方

1.1 農学系地区基本設計の役割	1-1
1.2 敷地特性の分析	1-2
1.3 農学系地区基本設計における骨格の形成	1-3
1.4 農学系地区基本設計における土地利用の方針-1	1-4
農学系地区基本設計における土地利用の方針-2	1-5
1.5 農学系地区基本設計における計画条件と施設配置の考え方	1-6
1.6 農学系地区基本設計におけるオープンスペースの考え方	1-7

2. デザイン・ガイドライン

2.1 農学系地区デザイン・ガイドラインの役割	2-1
2.2 全体デザインの方針	2-2
2.3 空間別デザインコンセプト1	2-3
空間別デザインコンセプト2	2-4
2.4 建築デザイン	
2.4-1 主なキャンパスイメージ強化のための部位と要素	2-5
2.4-2 スカイライン	2-6
2.4-3 立面構成1	2-7
立面構成2	2-8
立面構成3	2-9
立面構成4	2-10
2.4-4 アイ・ストップ	2-11
2.4-5 ゲート	2-12
2.4-6 キャンパスコモン内施設	2-13
2.4-7 エントランス	2-14
2.5 オープンスペース・デザイン	
2.5-1 キャンパス・モール	2-15
2.5-2 キャンパス・コモン	2-16
2.5-3 グリーン・コリドー	2-17
2.6 農学系地区用地別誘導指針	2-18

3. 施設計画

3.1 研究教育棟	
3.1-1 基本方針1	3-1
基本方針2	3-2
基本方針3	3-3
基本方針4	3-4
基本方針5	3-5
基本方針6	3-6
3.1-2 平面計画の骨格	3-7
3.1-3 平面計画の要素	3-8
3.1-4 断面計画1	3-9
断面計画2	3-10
断面計画3	3-11
3.1-5 パッシブシステム	3-12
3.2 キャンパス・モール隣接施設	
3.2-1 基本方針	3-13
3.2-2 平面計画	3-14
3.3 地盤レベル計画	3-15
3.4 交通計画	3-16

4. 構造計画

4.1 構造計画の概要	4-1
-------------	-----

5. 設備計画

5.1 設備計画の基本方針	5-1
5.2 電気設備	
5.2-1 電力設備	5-2
5.2-2 新エネルギー・省エネルギー・新技術	5-4
5.2-3 セキュリティ設備	5-6
5.2-4 中央監視設備	5-7
5.2-5 通信設備	5-9
5.2-6 総合情報伝達システム	5-10
5.2-7 防災設備	5-11

5.3 機械設備

5.3-1 空調システム・熱源システム	5-13
5.3-2 換気設備	5-16
5.3-3 給水設備	5-17
5.3-4 排水設備	5-18
5.3-5 ガス設備	5-18
5.3-6 消火設備	5-19
5.3-7 環境負荷低減計画	5-20